

1,870 万 円

新に九件を付託

委員長に前野氏

六議案を可決

大豊で開く

国保の体質
改善で政府
へ要望

一級国道三十二号線
改築計画概要について
(主として大豊村地区内)

建設省 土佐国道工事々務所

写真は国道改築工事
馬瀬地区で延長900m
写真の部分は橋の架替基礎工事

トルの改良工事を施工します。

川戸地区

川戸地区は皆さん御承知のとおり地じり地帯であり、当所としましてはも約過去一カ年間にすべきの規模、施工した対策等の調査を実施、しめたところ現地内（左岸側）を施工することとは不可能となり対岸を通して危険箇所をさけて、又現国道の方へ通すこととなり従って現地施工中の長瀬橋を経て鉄道橋と平行に新豊永橋を架設して駅の川側を通す、約三百メートル下流から吉野川に豊永大橋を架設して現国道の下を通過して伊辺谷橋を架替へて国道と連絡するもので昭和三十八年度は各橋の下部工事（橋台等）を施し暫定新面（約三千

昭和三十八年度事業計画概要について

板木野地区
昭和三十五年度に施工した板木野、戸手野橋及び昭和三十七年度施工の馬瀬地区を全線通して天坪まで改良工事を完成予定で延長約四千九百メートルであります。

杉地区
昭和三十五年度施工したところから町裏を経て村役場前まで延長約一千四百メートルの改良工事を施工する予定であります。

大田口地区
駅前の現国道に沿い養師橋の少し西より町裏（川側）を経て大田口橋の架替を含んで延長約七百二十メー

大久保地区

当地区は日本地質学会で有名な地すべり地帯で現在地すべり規模の調査（傾斜計の設置、水平、水道の移動量の観測）を実施中でありますが県境から約五百メートル間は地すべりもありませんので改良工事を施工する予定であります。

※注、昭和三十八年度計画は現時点に於ける予定計画でありますので若干の変更があるかと思いますが御了承願います。

一九六二・一〇・二

具了了否成二

高知県庁の新築落成式が十月末行なわれたが、二十

大杉と天坪は白熱の余り若干モメゴトが生じた由。



大豊村農業研究会連合会(森下龍平会長)主催の第三回特産物(冷涼地栽培)コンクール

特産物コンクール 団体一位に 西峰農研支部

コンクールが九月十五日、大田口小学校で開かれた。県経済連、市場、農業指導所の厳密な審査を受けた結果、次のとおり入賞の農研支部が決った。

【トマト】 知事賞：西峰。一位上桃原。二位岩原、西峰。努力賞：中内。

【タマネギ】 知事賞：西峰。一位西峰、岩原。二位上桃原、磯谷。

【キュウリ】 一位岩原。二位南大王。

【安芸マメ】 市場賞：岩原。一位中内。二位西峰、南大王。

【ピーマン】 市場賞：磯谷。一位岩原、努力賞：西峰。

【ハクサイ】 村長賞：西峰。一位松生。

【カンラン】 一位後木。二位立川、南大王。

【ナス】 二位西峰。

【ユズ】 努力賞：黒石。

【椎茸】 努力賞：磯谷。

【セリイ】 努力賞：南大王。

【団体賞】 一位西峰。二位岩原。三位桃原。



大阪青果市場朝9時頃

蔬菜出荷と 阪神市場を視察して

大豊村役場産業課 近藤 明

昭和三十四年度より本村の特産物として栽培されて来た冷涼地蔬菜園芸は昨年まで県内市場に於て丸豊のマークで八月、九月、十月にトマト等は市場を独占するまでに成長し本年は栽培面積の増加に伴いトマトを主体に初期の目的であった販路方面に始めて出荷した。

高知県からは九月十月の蔬菜出荷が非常に少なく大豊が成功すれば高知県山間地帯蔬菜栽培のモデルケースとして、これが与える影響は非常に大きいと多大な期待と好意を寄せられ今後の出荷についても助言がありました。

これを参考に園芸組合が中心となり改善につとめた結果、三日目売りにも拘らず阪神方面の近郊産地に負けない優秀品との折紙をつけられたわけです。

価格も十月二十三日売で四キロ(一ダ) 八八〇円



市場事務所と県大豊事務所青果物あつせん所長を交えて荷受機関と懇談

冷涼地蔬菜園芸の 栽培は組合を通じて

大豊村園芸組合長 森下龍平

昭和三十年頃より栽培研究がなされてまいりました大豊の冷涼地蔬菜園芸等は、完全な高知市場の大部分を独占するに至りました。御承知のように主穀農業から商業的農業へと移行して来た現在、園芸青果物は商品作物として有利に販売されています。

昭和三十三年頃より先進地の視察等も数回行い、商品として市場出荷への流通問題等の調査研究を三十五年一月に出荷組合を結成し、県内市場に出荷し好成績を収めております。

しかし乍ら最初は競合産地、輸送統制等の点に於て苦難の諸問題があり大へん苦痛でしたが段々と統制

については次号にくわしく紹介します。

現在の栽培種目は次の通りです。

一、蔬菜園芸
トマト、ピーマン、キュウリ、アキ豆、結球白菜、カンラン、キヌサヤ、馬鈴薯、玉葱、大根、ユズ、洋菜。

一、果樹(生)
柿、栗、桃、本村蔬菜園芸の主力はトマトで反当三、〇〇〇貫以上の収穫があり本年度中に約五〇〇貫以上の出荷が予想されています。

出荷時期は七月下旬から十一月月上旬迄ですが特に本年は八月下旬から十月上旬まで大阪神戸中央市場へ出荷され大好評を得、県内より、はるかに有利な価格で販売されました。

トマトは標高四〇〇米以上で栽培しないと優秀品は生産できません。それだけに本村は有利な条件に恵まれているといえます。

本年の県外行きは一〇トン車一両でしたが明年度は三両以上出荷する予定です。尚、明年度の栽培計画は本年度中に樹立するのて一般農家で栽培を希望する方があれば、農協若しくは農業指導所内園芸組合へ申込み下さい。

推茸も県内外出荷体制が樹立され出荷が始められております。

果樹のうち桃は本年度で予定面積が過ぎましたので栽培は打ち切っています。その他の種類は市場販売消費を増進して行きますので個人的な無計画な栽培をしないで必ず園芸組合を通じて実施せられるよう希望します。

果樹園設置に 村費補助交付

このほども流通問題でも幼稚な所が多く比較的大豊の出荷に支障とはならなかったともうです。

今後、大豊村の冷涼地蔬菜全般に亘り、更に高い地位に丸豊の銘牌を安定させるために、また今後益々県内外に出荷が予想される競合産地の出現に対処し打ち勝つべく、技術の普及、技術の改善、省力栽培の普及による面積の拡大、共同体制の強化、統制出荷の強化等まだまだ改善を図ると共に低経費の栽培に徹しなげうかと思ひます。

大豊村柑橘研究同志会が九月に結成された。これは大豊村内でミカン等を栽培する方々で結成されているものである。

この同志会は果樹に必要な学理の究明、栽培技術の向上並びに販路の改善、経営の合理化をはかり会員の研究意欲を助長推進し柑橘産業の飛躍的發展を目的に結成されている。

去る九月十一日結成式を行い次の役員を選んだ。

【会長】 大光吉(黒石)

【副会長】 寛利(後木)

【理事】 佐竹(大田上)

【監事】 渡辺(静雄、大田上)

【吉川正一郎(岩原)、上村栄樹(下桃原)、森下(下桃原)、千頭登(黒石)】

【代議員】 下村(岩原)

【近藤(後木、川井)、上村安男(下桃原)、上村延男(連火)、松村(佳景、尾生)】

【平石芳直(石堂)、西内良平(黒石)】

新しい種牛を 導入しました

黒毛和種の繁殖牛が最近急激に増頭してまいりましたが種牛の成績が悪いため飼育農家の生産意欲を阻害してまいりました。去る五月に岡山県より優秀な種牛を導入して岩原畜産組合(組合長下村保徳)で繁殖しております。

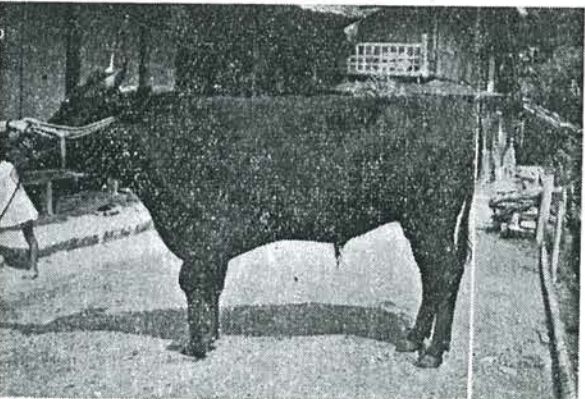
優秀な仔牛を生産するため大いに利用して下さい。

名号 横羽馬号

昭和三十五年六月十日生

生産地 岡山県岡野郡

現在飼育者 岩原 下村 重博



柑橘の 研究同志会 結成

大豊の
温州みかん
順調な生育

村内外の注目の的である温州みかんの栽培は、後木部等栽培されているものが、植付後二度目の冬を迎えることになったが、今の所非常に生育が好く関係者を喜ばしている。

現在村内で作っているみかんは、普通温州の南柑四号及び南柑十一号で大半が反当三〇〇本植の計画密植栽培を採用している。

この方法は木が太りつんとくると最初に決めた順番に従って間引き、移植して最後には反当四八本の永久樹を残すやり方で、間引く木にはそれ迄に沢山実をならし植付後三、四年頃からは収入を挙げつつ成園化する方法で、愈々来年から一部の園に実をつけるよう指導の指導で現在施設設計その他の準備を進めている。(産業課 近藤)

大豊村
心配事相談所
毎週火曜日
大杉農協階
上で
毎週金曜日
西豊永支所
で
いずれも午前
八時より
午後五時まで
無料
秘密絶対厳守
大豊村
社会福祉協議会

動機付自転車の事故数が多いのは、自動車台数三万余

写真は岩原神社での
奉納神楽へぎの舞
下村 亀喜氏

杉・高須
部落運動会

エクリエーションをねらいに上街、下街にわかれて始められたものである。その後、発展して高須部落が加わり今年で三度目の運動会である。家族挙げて部落ぐるみの応援と和気あいあいのうちに白熱した競技は村民運動会そこのけの盛況を呈した。

結局、僅少の差で高須部落が勝ち畠田公民館長から数々の賞品が贈られた。

運動会閉会後、杉部落の主催者にお父ちゃんの声援を浴び乍ら、下にわかれ初めてのソフトボール試

による「ぎの舞」下村永
晴氏の「てぎねの舞」下村
亀喜氏の「下村鹿守氏の刀を
使った「二点の舞」の三種
目が岡崎勝吾氏（八七）小
笠原正稔氏、三谷猛猪氏等
のバチさきばきにより見事に
舞われ、会場を埋めた観衆
からヤンヤの喝采を浴びた
尚二十九日の午後はテレ
ビ中継もされた。

合をした。

テレビなどで見て一応の
知識があるもののバットを
にぎるのは初めてとあつて
中にはボンと打ってサード
目にかけて走るなど珍バット
が突出、黄色い歓声とお父
ちやんのコーチする声で運
動場一ぱいにひらがり、こ
の種催しが部落に家庭に自
然な形でとけ込んでいくこ

前PTA連会長 十月十七
に感謝状 日に行な
われた大豊村PTA連合会
理事会(秋山信吉会長) 席
上前会長の畑山善郎氏の功
労に対し同会と教育委員会
から感謝状と記念品が贈ら
れた。

村民運動会結果

大杉地区 一位立川、二位
大杉、三位川口、四位穴内
天坪地区 一位久寿軒、二
位本村、峯、三位馬瀬
西豊上地区 一位東下庵谷
二位上東、黒石、中屋、三
位八川、東土居

大杉と天坪は白熱の余り、若干メモゴトが生じた由。

研修旅行　　三橋町同志会
は十一月五日から一泊二日
の日程で四十六人が貸切バ
スで香川県、愛媛県へ橘橋
栽培状況を視察研究した。

最高十六万　　十月十七日、
二百円　役場ウラの広
場で三十頭の肉牛セリ市が
開かれた。

最高落札は十六万二百円の
赤牛。

軟式野球と　公民館主催の
三三〇才　軟式野球大会
は十一月下旬に、また十三
〇オフトボール大会は十二
月上旬に開催する予定で

子供を事故から守りましょう

交通事故の防止は、道路環境の整備はもちろん、運転者、歩行者、自転車乗りすべてが、それぞれの立場において交通ルールを完全に守り安全交通が励行されることによってとめることによつてその目的に達することが出来ると思つて、お互い十分に注意し合ひたいものである。

右写真は九月に行なわれた大田口校での原動機付白転車実地試験風景。

昨年度の県警本部の統計によると県下で原付を受験した者が一万六千人余りでこのうち七十一パーセントが合格している。

原付を除く他の車種の合格率は平均して二十九パーセントである。

[illegible]

恒例の行事となっている
 の交通安全週間も終つた
 県では毎月二十日を交通
 故ゼロの日と定め事故防
 止に懸命の策を講じてい
 る。相変らず事故は頻発して
 春秋の週間やゼロの日だ
 事故を無くすのでなく、
 二、三、五、日、十、二十、
 日、百、千、万、億、の日に
 じつじやないものである。
 今後、追々と道路事情も
 交々となるが、それに従つて
 車も増加してくると思われ
 る。車の運転者は勿論、
 道路を歩く人も十分に注意
 しなければならぬ。
 そこで一日、本山署を訪
 れ交通係のお巡りさんに、
 「いろいろいとお話を伺った。
 事故の恐ろしさは十分認識
 されてはいるもの、取り返
 すのつかぬ事も起りつつあ
 るのだから、もう一度よく
 認識を直してもらいたい
 のである。」
 昨年度の事故 昨年度の本
 山署管内に

七件で、死者が三名、傷者
 は四十五名である。
 物的な損害は六百万円を越
 している。
 最も多いのは徐行違反で
 カーブが二十二件、直線
 十件。
 当然避けることの出来る場
 合でも徐行を怠つたばかり
 に事故が発生している。
 スピードの持つ恐ろしさ
 ここにある。

今年の事故 今年一月から
 九月迄の事故
 は三十五件、死者六名、傷
 者二十一名、物的損害が二
 百七十五万円を越している
 死亡者の態様 知県統計に
 よると死亡者は次の通りと
 なっている。

運転者	五十三人
歩行者	四十三人
自転車乗り	十五人
同乗者	四人
その他	四人

死者は五十才以上の老年層
 に多く、傷者は三十才以下
 十九才までのものが多い。
 事故別については死者は歩
 行者に、傷者は運転者自身

又、死んだ歩行者の
 老年と幼児に被害者が
 ことが注目される。

幼児は路上走り
 出しが多い
 童の
 のうちは一番多いのは路
 突然走り出ることであ
 遊びに夢中になつて車
 づくのに気が付かず飛
 したり、山間部だと見
 のきかない小路から走
 たりして事故が起つて
 その他、自動車の直前
 の横断や、自転車に乗
 路上、幼児の一人歩
 路上ゆきなどがあ
 時間的にみると午後
 から六時頃迄の事故が
 多いようである。

めいていが多い
 事故は原付が多い
 事故の発生を車種別
 と原動機付自転車
 に多い。
 その次が軽自動車、
 貨物車、自動三輪車、
 乗用車の順になつてい
 また発生月は十二月
 月が多い。

1. 日本 2000 年 10 月 4 日

•

苦難の諸問題があり大へん
なりません。
尚、園芸組合の機構内容
な苦痛でしたが段々と統制

で販売されました。
トマトは標高四〇〇米以
上です。

岩原 下村 重博

